

福祉新聞
WELFARE NEWS
복지신문

VOL 144

社会福祉情報・活動情報誌「きれい」

伊勢亀鈴会

ウェブ検索

きれい

夢と希望をもって

色々なことと

チャレンジして欲しい

社会福祉法人 伊勢亀鈴会

理事長 横山 仁司



安濃ダムの石像

安濃ダムの錫杖湖にあるだるまの石像。ダムの水位が引いてないと見れない。錫杖湖水荘のダムカレーもおすすめ。

目次

■巻頭インタビュー ————— 1

夢と希望をもって
色々なことにチャレンジしてほしい

社会福祉法人 伊勢亀鈴会

理事長 **横山 仁司**

■なかま ————— 6

新しい生活の場所で

八野生活介護センター

安藤 英志 さん

■ハートフルリレー ————— 7

次のステージへ

南勢就労支援センター

北村 瑞穂 さん

■春夏秋冬 ————— 8

行事・クラブ・活動紹介

■きれいアートギャラリー ————— 16

■きれいトピックス ————— 18

ブルーベリージャム「みえの食セレクション」

永年勤続表彰

成人・還暦のお祝い

追悼 倉田光春さん 岡田次弘さん

■きれいかいの動き ————— 表3

新職員・人事異動他

夢と希望をもって

色々なことに
チャレンジして
欲しい

社会福祉法人伊勢亀鈴会

理事長 横山 仁司

今回のインタビューは、横山理事長に伊勢亀鈴会の今後のことなどについてお伺いしました。インタビューは、宮の里ミタスメモリアルホームの山本と竹内です。よろしく願います。

Q1、新年のあいさつを読ませていただきました。毎年1月4日に発信してくださることとありがとうございます。どうございます。いつ考えてみえるのですか？

理事長：ことわざで「1年の計は元日にあり」という言葉がありますが、私は1月1日に起きると、仏さんの前で手を合わせ、1年間の伊勢亀鈴会の重点方針を何にしようかだいたい決めます。その後、1月4日出社して朝一番にそれを文字にして全職員に送っています。

Q2、運営方針について、中核人材の育成とありますがどんなイメージでしょうか。また福祉人材の獲得（特に新卒）はどのようにされているのかみなさん詳しく知りたいと思うので教えてください。

理事長：今は職員の皆さん320名が非常に頑張っている状況です。ただ今良いから5年、10年、20年先大丈夫かと言われると、そうではないと思います。私が今一番心配しているのは人材についてです。新卒のリクルート活動ですが、リクルート活動をやっているかいないと5年、10年、20年先になったら今の施設長さんほとんど居なくなるよね。いきなり施設長になれるわけはないから、若い人を入れて10年、20年かけて施設長になるような人を育成します。それが中核人材ですから。先を考えながら中長期的に人材を確保するって事が中核人材ですね。

それと採用、これは高卒であれ専門学校であれ、それぞれの若い人を採用していきます。

老人系、児童系、障がい系、この3つを上げると1番人気があるのは老人系で次に児童系、障がい系はほとんど応募がないです。大学4年生対象に説明会に行ったとき、そこには当然、老人系、児童系、障がい系の大学の方もみえて、説明が終わって聞きたい事があれば各教室に行きなさいとのことでしたが、待てど暮らせど1人も来なかった。大学の先生に「何ででしょうか」と尋ねると、「生徒は障がい系の理解がほとんどない。高齢者の老人はわかる、幼稚園・保育園の児童の理解もありますが、障がい系の仕事って何か理解されていない」という事。私たちのPRが足りないということになります。

これからもっともっとPRをしていきます。

Q3、コロナ感染が法人内の事業所でも発生しましたが対応として良かった点、反省点はありますか。

理事長…良かった点から話しますとね、入所施設、特に八野生活は発症者が複数出て、その時にどのように手を打ったかというところゾーン分け。いわゆるレッドゾー

ン、イエローゾーン、それからブルーゾーン。こういうゾーン分けをしてできるだけ感染を拡大させない手を打ちました。その結果三重県の感染対策チームが視察にいられて「この発想は非常に良いですね」と言って褒められたことはありますね。入所だから感染拡大、クラスターはやむを得ないということじゃなくてその中でも限られたスペースの中でゾーン分けをして、そして感染者、濃厚接触者、陰性者こういう3つに分けて部屋分けをしました。それと食堂で同時に食べずに居室へ食事を運んでこれ以上拡大させないように。もちろんそれ以前にアルコール消毒とかうがいとか、

こういうことは徹底しました。

ただ残念ながら感染者総数、職員、利用者合わすと数十名に達しましたね。濃厚接触者とか、あるいは家族感染とか含めると100名オーバーしましたね。万全だったかと言われるとそうじゃない。どちらかという苦肉の策でゾーン分けをした次第ですね。施設に居る人間は自分の所の施設の中の事だけを考えるけど、やっぱり通所は色々な施設に行かれるので、ここも忘れてはいけませんね。グループホームもついつい手薄になるんです。少ない人数でも密集なのでグループホーム対策は今回で非常に勉強になりました。グループホームの利用者さんが発症すると世話人さんは全員自宅待機にしました。特定の職員だけが寝泊まりしてこれ以上感染拡大させないという対策をしましたね。

反省点としてはやっぱり感染隔離棟は絶対必要だと感じましたね。宮の里でも介護棟へ感染者を移動させると自動的にショートや通所をストップせざるを得ない。あれは良くないということなので6〜7人ぐらいが療養できるスペースとして、プレハブでの隔離棟を宮の里に設置します。八野にもちょっと規模は小さいですがトータル2500万の投資をして隔離棟を設置します。こういう対策を考えています。



Q4、5月からコロナの扱いが変わる見込みですが、亀鈴会はどのように対応して、イベント等は再開していくのか、感染対策はどのように変化していくと予想されていますか。

理事長：…この3年間のコロナ影響で1番精神的にダメージを受けたのは利用者だと思うんです。外へは出られない、中では感染者が拡大する、場合によっては入浴もストップしました。この利用者みなさんのストレスをどう扱う風を解消していくかということが当面大きな問題だと思いま

す。精神的なダメージをもう1回戻すには2倍も3倍も期間がいります。大きく分けて2つに考え方を分けていきます。1つは5類の移行ということ、日本全体そうなりますから。だから杜まつりとかバス旅行、買い物ツアーとか、これは解禁にしようかなと思っっています。もう一方、これだけはちよつと避けようかなと思つのは3密と言われる密集。共同生活している以上はどつしても接触率、空気感染にしろ手の接触にしろこれが家庭より多いと思うんですね。利用者を守っていくとどう立場からするとマスク、手洗い、うがい、こつこつというのは継続していかないと風を考えるとつまずく。



Q5、ほのぼののシステムを南勢地区の事業所でも使い始めましたが、今後はどのような事を考えているのでしょうか。

理事長：私はそこに直結していくのはA1、ICTとの連動を考えています。今介護職は中々充足しないから夜勤が1カ月に7回も8回もあります。やっぱりこれは良くないと思うんですね。そうするとA1、ICTの力を借りざるを得ない。ご存知のようにA1とかICTというのはデータ蓄積をして分析をしてそれで効率的な介護に繋がります。ほのぼののシステムも目的はそこなんです。あるいは

は、送迎ミスで死亡事故に結びついた静岡の幼稚園がありましたね。人間の力では防ぎようもない事もありますからその時に移動通信、いわゆるモバイル系でね、それを全部チェック出来ます。といった仕組みでミスを防ぎ、あるいは夜勤、仮眠といつてもほとんど寝ずに介護するというのは不可能です。たとえばトイレの時間のデータ分析をして平均的にその時間だけ排泄介護をします。何人も同時にナースコールが鳴ったらすぐに行けないですから、自動音声で「〇〇さんあと〇〇分待ってください」「どうされましたか?」というのが出来ます。

あるいは転落事故。ベッドから離れた時間を監視して危ないと判断されいくつというふうなコンピュータと人間を合わせた介護。もっと効率的にやれば夜勤者の仮眠時間も長くなって安心していきますね。全員のデータを蓄積すれば特性がわかって分析が出来て、そういう事を考えています。ほのぼのがその一環なんです。通所ではお迎えにあがるときに「〇〇分後に自宅にマイクログラスが着きますので表に出て準備してください」というような自動的にアナウンスが保護者の携帯の方へメッセージが伝わる、バスラボサービスって言いますがこういう物をつけたいという風に思っています。

Q6、個別ケアについて、施設ごとに定義のばらつきがあることを指摘頂いていますが、法人理念との関連性なども含めてアドバイスをお願いします。また個別ケアの先には何があるとお考えですか。

理事長：個別ケアというものの私の考えは自己実現。企業理念にもありますね。「親亡き後の「生涯支援」と、「利用者個人の潜在能力を最大限に発揮して自己実現していく」「これと直結していくわけです。例えば山登り、やっとたどり着いて風景を見て「やったー！登り切った！」というあの感動を僕は利用者さんに1つでも2つでもしていただきたいという思いがあるんです。利用者さん10人居たら10人も自己実現は違いますが、色々な好きの人、絵画の好きな人、色々違う。そうすると個別ケアってみなさんで10人なら10人も違うわけです。また、ニーズだけをきいてはだめですね。障がい者施設はニーズを実現するのは100%だと言われてますが、そうじゃないんです。利用者さんの言う通りにしたら利用者さんそれで満足かって言ったらそうじゃない。引き出してあげる。良い所を引き出してあげる。そういう個別ケアをやっぱりやっていかなくてはいけない。今までの介護職のみなさんは利用者のニーズをベースにそれを達成すれば良いんじゃないかという考えですが私は違います。利用者ニーズを50%

あと50%は職員のみなさんがあの人はこういう特性があるからこういうことをやってあげたら良いんじゃないかって引つ張ってあげる。潜在能力って自分ではわからないけど、これが得意なんだなっていっぱいある。それを出来るだけ引き出して達成感を味わってもらってというのが私の自己実現です。個別ケアを強化するにはもっともつと利用者さんと近くに位置して引き出してあげる。これが個別ケアの原点だと僕は思います。

Q7、入所者さんが高齢化になってきますが亀鈴会で高齢者施設はやらないのでしょうか。または高齢者施設に代わるお考えはありますか。

理事長：特に通所の利用者さんは65歳になると入所を希望すると否が応でもうちの伊勢亀鈴会の障がい者施設とは違って老人系の施設に入所することになる。こういうのって寂しいですよ。だから少なくとも北に1か所、南に1か所は老人施設を作って通所の方が65歳になってほかの施設に入所で行かなくてもいいようにうちの伊勢亀鈴会の中の老人施設でゆっくりと生涯支援が出来る、まさしく生涯支援の本幹になる部分ですから。中長期的には老人系の施設を1か所ずつ作らなくてはいけないのかなという風に思っています。寂しい気持ちは

利用者さんも同じだと思います。早く準備します。

Q8、世の中物価の値上がりが起きていますがこの状況は続くのでしょうか。続いたら私たちの給料も上がるのでしょうか。

理事長：私はここに来て15年になりますが、来た当初は民間の平均賃金が32万、そして介護職は20万。12万の差がありました。毎月のみなさんのお給料の内訳を決裁する時に手取り20万を切る人が9割でビックリしましたよ。これはちょっとだめだなと何回かに分けて賃金規定を見直しました。変えませんでした。そして手当も上積みしましたね。そこへようやく政府が気付いて処遇改善というものを導入してきたという状況だったんですね。キャリアや勤続年数によって違うと思います。今見て見ると伊勢亀鈴会の給与数値は民間水準にほぼ並びましたね。月額給だとポーンナスが入ってませんからポーンナスも入れて年俸はどれぐらいなのかここを目標に作ってさらに上積みしていこうかなってという風に考えてます。おそらく老人系にしろ障がい系にしろ少なくとも三重県の中では給与水準は伊勢亀鈴会はかなり高いと思います。それと同時に報われる仕組みとして、頑張ったらポーンナスをプラス10万とか20万とかそういう制度も今入れてい

るんですけど処遇改善の状況をもう少し見極めて今はやっています。それから資格手当もさらにプラスしているのかなと思っています。

Q9、普段は何をされて過ごされているのですか。

理事長：コロナ前までは月に1、2回ゴルフに行っていました。それと私は百姓の長男坊で生まれ田畑がありますから普段は田んぼや畑をして野菜を作ったりしています。出来るだけ土日は汗を出すように肉体労働を中心に行っています。そうすると月曜日になると体調がすごく良いんですよ。農業を通じて鍛えています。

Q10、理事長から見て若手職員さんに感じる事がありますか？

理事長：休日のお話が出ましたが、今の若い人たちは休みに何をしているのかなと非常に興味がありますよ。私は若い頃野球をずっとやっていましたから休日でもずっとテレビを見たり横になっていることはまずないですよ。何か体を動かしていますね。私たちの時代はゲームなどはなかったのでそういう点ではどんなことでも経験してきました。例えばギャンブル、スキーもスケートもゴルフも、この世でやれないことは何にもないってくらい経験してきました。この年齢

になると色々な高齢の人と喋ると話が豊富になりますよね。利用者さんを支援するにしても利用者さんも色々な人が居ますから経験に勝るものはないと言われますけど利用者さんとの会話でもねもっともっと幅広く色々経験していかないと話題性に乏しくなると思えますから。ぜひもっと色々な事にチャレンジしてほしいと思いますね。夢を持って希望を持って。「言ってもダメだ」「中々上へ伝わらない」といつ諦めずに「もっとこういいうことをしてほしいんだ」ということをどんどんぶつけてください。僕はそういうことが若い人達の夢でもあり希望を実現するための大きな要素になりますから。ぜひ、高齢の私はまだまだ夢もある以上に皆さん自信が夢を持ってほしいなと思います。

横山理事長ありがとうございました。





新しい生活の場所で



元気に過ごしています

安藤英志さんは令和4年1月3日から入所となり1年が経過された。

入所したては緊張している様子で度々事務所に来られて「お母さんにいつ会える？」と言って不安そうな顔をされていたが、数日すぎると施設にも慣れ事務所で来ることは少なくなった。

八野での生活は、平日八野就労で、がんばって働き、帰って来てからはロビーで他の利用者さんと一緒にテレビを観ながら話をされたり、部屋で自宅から持ってきたテレビゲームをして自分の時間を自由に過ごされている。

行事にも毎回参加され、日頃関わりの少ない利用者さんとも一緒に活動して仲良くなり、朝会ったときに「おはよう」と挨拶したり、作業に行くときに、その方に「行ってきます」と話しかけるなど利用者さんとの関係も良くなっている。

安藤さんに1年経ってどうか聞いてみると「楽しくなってきた。このまま楽しく過ごしたい」と言っていたが、八野の暮らしにすっかり慣れてきているようで、これからも楽しく生活していけるよう支援したい。



毎日ゲーム



仕事頑張ってます



笑顔で挨拶

八野生活介護センター

安藤 英志 さん



次のステージへ

～苦手を得意に、
自分に自信をもつ～

南勢就労支援センター

北村 瑞穂 さん



移行訓練の様子



計算問題中

現在、就職を目指し月・水・金は移行訓練を、火・木・土はお弁当屋潮音で給食やお弁当の調理補助を行っている。お弁当屋潮音立ち上げ当初からのメンバーである瑞穂さんは給食の刻み食からPCCでのお弁当数入力まで幅広くこなし、最大の強みは「ミスが少ないこと」。心配性の本人はダブルチェックはもちろん、職員への確認も怠らない。

「お弁当屋潮音の要」である瑞穂さんだが、「就職をしたい」と気持ちがあらず芽生えてきた。一緒に働く仲間たちは「いなくなる」と困る「のを承知で、本人の未来のために背中を押した。昨年4月にB型から就労移行事業に変更となった。この漢字難しい」「これである？」「と漢字検定問題や計算問題に挑戦、日々奮闘中である。

「ふいふ就職を目指しつつも思ったのですか？」の質問に「今の仕事も好きだけど、いろんな仕事に挑戦してみたい。苦手なこともがんばって、自分の嫌いなところを好きになりたい。」「との回答。たぐひの可能性を秘めている瑞穂さんの今年の目標は「自分に自信をもつ」だそう。自信がなく、猫背気味の背筋をピンと伸ばして前に進む姿が楽しみである。



お弁当の盛り付け



恵方巻



潮音の丼と日替わり弁当

八野生活介護センター

正月の特別な食事

1月1日、おやつにたいやきを食べた。ほかほかであまりの熱さに、皆さん食べるときに苦戦をしていた。なかなかあんこのお菓子を食べないので、皆さん「おいしい」、「うまい」と喜んでいました。

1月2日の昼食には例年、外部で昼食を頼んでおり、今年はモスバーガーを食べた。器用に紙で包んでバーガーを食べたり、バンズとパティと野菜を別々に分けて食べる人がいたり、色んな食べ方をしていた。皆さん決まって、最後には甘いジュースを飲んで笑顔で完食した。



ハンバーガーおいしい



もう食べ終わっちゃった



たいやきくん



最後まで味わう

八野芸術祭



手工芸部門



書画部門



陶芸部門



絵画部門

2月下旬から3月まで通所で「八野芸術祭」を開催。陶芸・手工芸・絵画・書画の部門別に施設内の廊下等に1ヶ月展示し、他の入所利用者さんをはじめ、放デイの利用者さん、職員に見てもらっている。展示期間最終日まで投票を行い、表彰式を行う。

次年度以降もイベントを継続し、利用者さんの皆さんがモチベーションを高め、素晴らしい作品を作っていく後押しができればと考えている。

放課後等デイサービスURAURA

放課後等デイサービスURAURA八野

みんな大好き焼き芋

11月26日、12月10日、27日の3日間焼き芋作りを行った。子どもたちには、まず、濡れた新聞紙でさつまいもを包み、次に、アルミホイルで巻き炭の上に置く手伝いをしてもらった。職員が炭火で焼いている最中にも「まだ?」「早く食べたい」と、何度も外の様子を見にやってくる姿が見られた。1時間程じつくりと焼き、美味しいほくほくの焼き芋に仕上がった。できた焼き芋を食べた児童達は「あまーい!!」「美味しい!!」と何度もおかわりをする児童もいるほど大好評で終わった。また、来年の秋が楽しみだ。



熱いから手早くね!



「なんで新聞紙まくの?」
「この方がうまく焼けるらしいよ。」



美味しくて、思わず笑顔



皮をむいたら黄色いお芋



思ったより甘い!



いっぱい食べられそう。



ロープウェイの景色



山登り!

今月は、冬ならではの活動をしたということ、御在所ロープウェイに乗り、スキー場でそり遊びをした。ロープウェイに乗ると「高くてこわい」や「下が見えて楽しい」などの声があった。スキー場に初めて行った子どもたちは、雪がいつぱいの景色にテンションがあがっていた。スキー場では、そり滑りを楽しんだり、雪だるまを作ったりして冬の雪山でしかできない楽しさを味わっている様子が見られた。「また、来年もしたいー!」や「ロープウェイ怖かったけどまた乗りたい」という意見があったため、今後もいろんな体験をして頂きながら、沢山の事を感じていきたい。



そり滑り

雪遊び

放課後等デイサービスURAURA稲生

八野就労支援センター

リモート初詣&成人のお祝い

1月14日(土)、初詣&成人のお祝いが行われた。初詣ははじめてリモートで実施。スクリーンに映し出される社に向かい、順番に参拝した。普段はにぎやかなみんなだが、静かに見守る姿が印象的であった。反対に成人のお祝いでは正装した2人の登場に拍手喝采。先輩たちからの「おめでとー!」の声飛び交う和やかなひと時となった。



ダルマ作りもしました



一人ずつ参拝しました



正装した2人にみんな感動



どんな顔にしようかな

ミニストップさん、ありがとう



手紙をプレゼント



恵方ロールを受け取ったよ



みんなで記念撮影

ミニストップ庄野店さんから節分にちなんだ恵方ロールのご寄付をいただいた。施設を代表してきらきら棟メンバーが受け取り、お礼を伝えたと、感謝の手紙をプレゼントした。「いつもありがとう」「これからも仲良くしてください」などの内容に「また来年も来ますね」と笑顔でお返事をいただき、大喜びのみんなであった。おいしい恵方ロールをありがとうございました。

きれいサポートステーション

まかせ太君の頑張り

まかせ太君では除草・不用品・遺品整理・伐採・特殊清掃・解体・土地の売買などの様々な仕事に携わっている。

伐採の現場では高所作業車に利用者さんと一緒に乗り、チェーンソーの使い方を教えたりしている。また除草作業では草刈機を使っている。仕事はもちろんのこと、薬剤散布や防草シートの設置などでもしている。草刈機の使用や防草シートの設置、さらには薬剤散布も利用者さんに取り組んでもらい、もちろん利用者さんの事故・怪我を防ぐために日々のリスク管理も徹底して行っている。

今後は少しでも多くの利用者さんに多くの工賃を支払えるよう、新しい作業にも取り組んでいきたい。



防草シート作業



チェーンソー指導



高所作業車



薬剤散布

サポートウォーカー 関宿を訪れて

今回のサポートウォーカーは東海道五十三次の関宿を訪れた。ちょうど散策当日の2月11日から開始の「東海道のおひなさま」も楽しみにして出かけた。

当日は前日の雨が嘘のような快晴だった。グループを3つに分け、グループ毎の散策を楽しんだ。江戸、大正、昭和、平成時代のおひなさまを見れる場所もあり、数年ぶりのおひなさまに再会できたことを喜ぶ姿もあった。また関宿を2階から見ることができた眺見亭にも行き、江戸時代の宿場町として栄えた風景を堪能することができた。折り返し地点は東の追分と言い、右の鳥居の方に行くと伊勢神宮へ、真つすぐ行くと江戸へと分かれる分岐点でもその当時の歴史を感じることができた。また歴史を感じながら散策できるサポートウォーカーを来年度も楽しみたい。



東海道のおひなさま



お寺の前で記念撮影



関宿の道



楽しく笑いながらの散策

南勢就労支援センター

リセットヨガ

今年度、南勢では外部講師によるヨガ教室を開催している。長く続くコロナ禍に体を動かす機会や頻度が減ってしまっていたため、ヨガインストラクターの先生にお願いし、全員参加させていただいている。

最初のうちは先生の動きを真似するのが難しかったり、腕を上手く伸ばせず体の動きも小さかった。照れくさい気持ちから参加に消極的な人もいたが、毎月ヨガ教室に参加するうちに、伸び伸びと体を動かせるようになってきた。毎回冒頭でおこなう体をつかった先生とのじゃんけんはみんな盛り上がり、音楽に合わせて体を動かすのも楽しそうにされ、先生からも体の使い方にお褒めの言葉をいただけるようになってきた。

今後も体を動かす活動をおこない、健康意識を高めていきたい。



密回避のため3ヶ所でヨガを行いました



座って出来るヨガ



足を使ってじゃんけん!

ご寄付をいただきました

南勢就労支援センターでは、井村屋さんとわらしべさんからご寄付をいただきました。

井村屋さんからは肉まんを、わらしべさんからはばんじゅうをいただき、利用者さんにふるまいをさせていただいた。サプライズだったため、職員が温めている時から何があるんだろ?と利用者さんはそわそわ。蒸しあがった肉まんやばんじゅうに大喜びだった。

厳しい寒さが続いているが、美味しくてあたたかいご寄付に、利用者さんは笑顔で召し上がられていた。ご寄付ありがとうございました。



ご寄付ありがとうございました



井村屋さんに肉まんのご寄付をいただきました



温かい肉まんに笑顔♪



わらしべさんからたい焼きとばんじゅういただきました

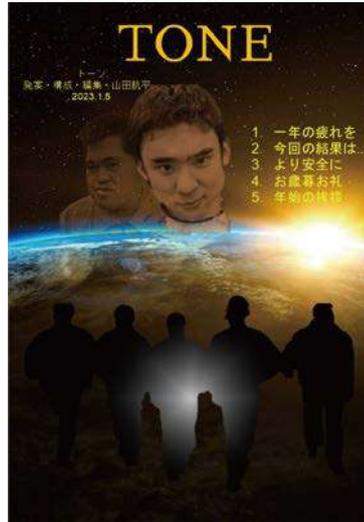


甘くて美味しいばんじゅう

第2南勢就労支援センター



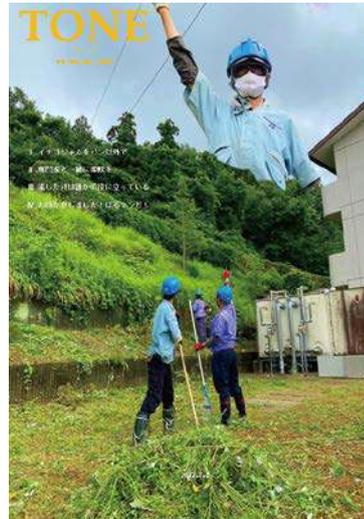
月刊トーン 2月号



月刊トーン 1月号



月刊トーン 11月号



月刊トーン 7月号

毎月発行している施設通信「TONE」は、施設でのイベントの様子等を発信している他、インパクトのある表紙作りに力を注いでいる。ひとりひとりの利用者さんの良さが表現されるように考えられた構図が多くの方から評価を得ている。今年度は映画のポスターの構図を模した表紙がテーマ。どのような映画作品のオマージュに出会えるかはごっこ期待!! 過去のTONEはQRコードから亀鈴会HPへお入りください。

施設通信「TONE」が面白い!!



法人 HPQR

YouTubeへ亀鈴会のアカウントを登録。現在、各事業所がそれぞれの持ち味を出して動画を投稿している。よく、特別支援学校の先生から「まかせ太くんの作業はどのようなことをしていますか?」と質問を受ける。直接現場に行かなければ見る事ができないまかせ太くん作業風景をYouTubeへ投稿した動画は、説明するときに役立つている。ぜひ、亀鈴会のチャンネル登録をして各事業所の情報を受け取っていただきたい。

伊勢亀鈴会
いせきれいかいチャンネル
ようこそ福祉の森へ

いせきれいかいチャンネル QR

いせきれいかいチャンネルのご案内

話題の
YouTubeへ挑戦!

宮の里ミタスメモリアルホーム

創作活動

2月6日(月)、創作活動にて雛人形を作成した。

折り紙で人形作りは難しそだったが、最後の方は皆さん慣れた様子で楽しそつに取り組んでいた。

完成品はガラスケースに展示し、来訪者に見て頂くこととした。



できるかな



どうしようかな?



完成



お姫様からね



頑張るぞ

〇〇を込めて

2月9日(木)、午前に4グループに分かれてケーキ作りを行った。みなさんそれぞれ職員さんと一緒にホイップを塗る工程、フルーツを乗せる工程、仕上げにデコレーションといった工程を楽しまれた。お決まりのつまみ食いもされ、しっかりと愛情も込めて完成。午後は美食。美味しいケーキを食べている表情はとても良く今年のバレンタインのケーキ作りは大成功だった。



中々難しい...



ホイップは多めに...!!



どれもおいしそう♪



私上手やん!!



あと少しで完成♪

二見生活介護支援センター潮音

メリークリスマス！



みんなで一緒にメリークリスマス!



クリスマスソングで盛り上がり



プレゼントなにかなー?

12月24日(日)、クリスマス会を行った。サンタさんからのプレゼントが利用者さんに一人一人に渡された。もらった時には「ありがとう」と嬉しそうにしていた。また、職員が演奏するクリスマスソングの合唱や、鈴やタンバリン等を奏でてクリスマスらしい雰囲気が出て、とても盛り上がりがあった。最後にOXゲームを行い、豪華賞品も用意され、笑いもあり大盛り上がりであった。帰りにはクリスマスケーキを持ち帰って頂き、クリスマスを堪能できた。

鬼は外、福は内!



鬼とハイチーズ!



鬼がきたー!

2月3日(金)、節分の豆まきが行われた。鬼がやってきて、豆を模した紙のボールを「鬼は外、福は内」といながら鬼を退治しようと一生懸命投げた。また、鬼に怖がってその場から逃げだしてしまったり、泣きだしてしまう利用者さん姿も見られた。その後、利用者さんに豆の代わりのたまごボーロをそれぞれの年の数食べてもらった。利用者さんが帰られる前には玄関に豆をまいて、節分の雰囲気味わっていた。



近澤良



放課後等デイサービスURARA



川口 昌孝

お面



八野生活介護センター

きれい

アート
ギャラリー



今号より新企画がスタート！
きれいアートギャラリーでは利用者さんの作った物、書いた物など作品を紹介していきます。
さっそく第1回目から各施設の力作が勢ぞろい！是非ご覧ください。

優しさに包まれて
みんなと一緒にいます



廣崎 凌海



黒田 京子

編み物



湊川 悠那



白川 正子

みんなで絵馬作り



八野就労支援センター



わくわく体験会参加者一同



岡田 優里菜



鈴木 美津之



きれいサポートステーション



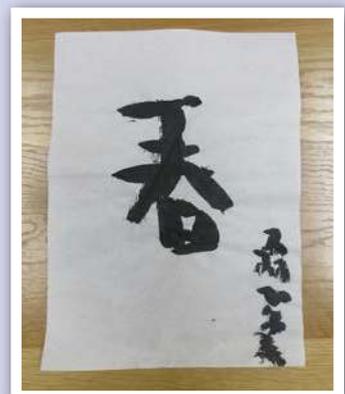
谷口 雄太



潮田 美奈子



潮田 美奈子



森 ひと美



政木 春香



山本 哲太



山本 茉利亜

ブルーベリージャムが 「みえの食セレクトション」に選定されました

食に精通した有識者の審査をふまえ、セレクトされた産品として「Natureわくわくジャムのブルーベリージャム」がみえの食セレクトションに選定された。

令和4年8月半ば、「三重県雇用経済部 県産品振興課県産品販売促進班」への書類提出から全ては始まった。

「12」もの必要書類を準備して電子申請・届出システムにて提出を行う。もちろん申請資格をクリアしている必要がある。

9月下旬、書類を提出後一時審査（書類審査）が行われる。

10月末、発表審査を無事クリアして2次審査へ挑む。過去、いちごジャムは、2次審査をクリアすることができなかったので、職員一同、今回はクリアできることを強く願っていた。

二次審査は11月7日。10分間の短い時間で「商品のストーリー・生産・製造方法・原材料のこだわり」等をプレゼンテーションしていく。

このときの有識者の反応は悪くなかったが、選定されるかの不安な気持ちが消えることはなかった。

年が明けて令和5年1月上旬。担当の方より「みえの食セレクトション」選定の報告を受ける。職員一同の安堵の声が上がる。就労商品としては「初」の選定。喜びの気持ちが込み上げてきた。

1月27日、雪の中、県庁にて認定証交付式が行われた。利用者さんとともに手作りしたジャムが県に認められた瞬間であった。



永年勤続表彰

20年	10年	5年
古御門 聖子 宮の里ミタスメモリアルホーム 経営企画本部	磯部 光 きれいサポートステーション	岸 匡彦 八野就労支援センター
小林 良樹 社会的事業所まかせ太君	中田 裕介 第2南勢就労支援センター	内山 周二 社会的事業所まかせ太君
高島 正廣 二見生活介護支援センター潮音	伊藤 美樹 八野就労支援センター	板谷 佳典 八野生活介護センター
奥村 比呂美 二見生活介護支援センター潮音	中嶋 睦 きれいサポートステーション	磯部 崇 宮の里ミタスメモリアルホーム
鈴木 貴博 南勢就労支援センター	村松 さくら 宮の里ミタスメモリアルホーム	入口 誠 八野就労支援センター
	伊藤 竜也 八野就労支援センター	松本 拓也 第2南勢就労支援センター
	田中 秀人 宮の里ミタスメモリアルホーム	中西 智彦 二見生活介護支援センター潮音
	前田 美咲 八野生活介護センター	早川 世羅 宮の里ミタスメモリアルホーム
	森田 みつる グループホームきれい 御系の杜	
	岩崎 千賀子 きれいサポートステーション	
	岡本 則子 八野生活介護センター	
	村田 賢二 八野就労支援センター	

成人・還暦のお祝い

還暦になられた利用者さん5名、成人になられた利用者さん11名、おめでとうございます。健康に気を付けて、これからも頑張ってください。

還 暦



立木 善丸さん

成 人



大湾 水連さん



村田 英信さん

八野生活
介護センター

成 人



藤村 優輝さん
体調くずさず、
頑張ります。

きれいなサポート
ステーション

成 人



松本 莉沙さん
お仕事
頑張ります。



式井 加樹人さん
マラソン
頑張ります。

八野就労
支援センター

還 暦



中村 浩巳さん
日中活動や音楽
療法を頑張ります。

成 人



佐々木 里瑛さん

宮の里
ミタスメモリアルホーム

還 暦



浜川 きよりさん
ホールのお仕事
頑張ります。

成 人



木下 雄介さん
体調を崩さず、
仕事を頑張ります。



川口 優さん
就労移行で頑張って、
就職を目指します

南勢就労
支援センター

還 暦



廣垣 えつこさん
健康第一で
頑張っていきます。

成 人



丸本 恵美子さん
これからも
笑顔で頑張ります。



若江 祐 さん
日々感謝を
忘れず、頑張ります。

二見生活介護
支援センター 潮音

成 人



辻 叶さん
いちごの下処理
頑張ります!



富田 和希さん
7月の試験に向けて
勉強中!!

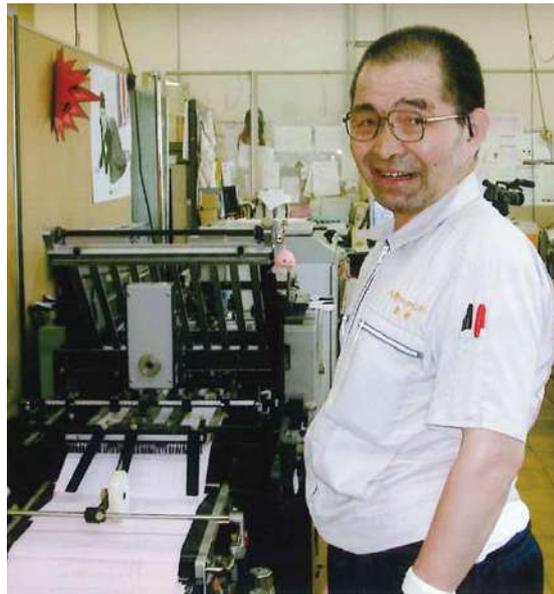
第2南勢
就労支援センター

追悼 倉田光春さん 岡田次弘さん

1月、きれいでい会でもに過ぎた、倉田光春さん、岡田次弘さんが亡くなられました。倉田さんは78歳、岡田さんは73歳でした。お二人とも八野ワークセンターで長く作業に従事され、晩年は八野生活介護センターで日常を過ごされていきました。甘いものがお好きで、皆さんとの食事を何よりも楽しんでいた倉田さん、カラオケがお好きで、素敵な歌声を響かせてくださったという岡田さん。お二人のご冥福をお祈りしています。どうかごゆっくりとおやすみください。



倉田さん お別れ



八野ワークセンター時代の倉田さん



岡田さん お別れ



カラオケのお好きだった岡田さん



合同慰霊碑 納骨式

南勢就労支援センター

宮の里ミタスメモリアルホーム



倉井 一幸



向井 崇晃



小林 さくら
(管理栄養士)



太田 吉紀
(運転手)

で寄付をいただきました。
ありがとうございました。

2023.1.4~2023.4.1

伊勢亀鈴会

加藤 充広 様 八野就労支援センター保護者様

福祉葬祭三重

- 真宗高田派 真善寺 様
- 浄土真宗本願寺派 正久寺 様
- 真宗大谷派 西教寺 様
- 真宗高田派 浄運寺 様
- 真宗高田派 法流寺 様

※掲載中の写真におけるマスクの取り外しについて

各施設とも感染症対策のため、マスク着用は徹底しておりますが、一部の記事ではマスクをしていると表現が伝わらない部分もありましたので、マスクを外して撮影させていただきました。ご協力ありがとうございました。

編集後記

144号の編集長を務めさせていただきました。八野生活介護センターの前田と申します。初めての編集長だったので、しっかりできるか不安でしたが他の方の協力や助言もあり完成する事ができました。ご協力していただいた皆様、誠にありがとうございました。



ボランティアさん募集!!

八野生活介護センターと宮の里ミタスメモリアルホーム、二見生活介護支援センター潮音では、昼間ボランティアさんの趣味・特技を活かし利用者さんと一緒に活動していただける方を探しています。

現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいておりますが、利用者さんと娯楽(卓上ゲーム等)・園芸・話し相手など気楽に接していただける方も募集しております。

ご希望の方は、ぜひ一度各施設までお問い合わせください。

問い合わせ

- 八野生活介護センター 担当:高田 TEL059-378-8881
- 宮の里ミタスメモリアルホーム 担当:加藤 TEL0596-58-5030
- 二見生活介護支援センター潮音 担当:中西 TEL0596-72-8822



きれいな通信 **ちょっと寄り道!!**

特産品販売所 あざふるさと



あざふるさと外観



あざふるさと店舗内

観光三重にも紹介されている特産品販売所・アンテナショップあざふるさと。
 三重県中南勢の特産品を中心に明和町のゆるキャラ「めい姫」のグッズ等も扱っている。
 特に伊勢の和紅茶は人気が高い。
 健康志向がますます高まる中、嗜好品も低カロリーなのが好まれる傾向の現代。
 ほのかな甘さがあるので砂糖が要らず、とてもヘルシーな飲み物。
 その味わいは和洋どちらの食事にも合い、その香りは忙しい日々の中に心と身体が『ほっ』とする時間をもたらしてくれる。
 祈る皇女斎王のみやこ斎宮として有名な

三重県多気郡明和町斎宮。
 歴史の探索に訪れた際はあざふるさとにちょっと寄り道してみるのがもどろだろう。



- 指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
八野生活介護センター
指定放課後等デイサービス事業所
URAURA八野
〒513-0837 鈴鹿市八野町428番地の1
TEL.059-378-8881代 FAX.059-379-3223
e-mail hachino@kirei.or.jp
- 指定放課後等デイサービス事業所
URAURA稲生
〒510-0205 鈴鹿市稲生4丁目19-6
TEL.059-392-5130代 FAX.059-392-5131
- 指定就労継続支援事業所・指定生活介護事業所
八野就労支援センター
〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
TEL.059-378-6622代 FAX.059-378-5335
e-mail hachino2@kirei.or.jp
- 指定就労継続支援事業所
福祉の森の家 体にいおにぎり屋
〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL.059-380-6355 FAX.059-367-7377
- 指定共同生活援助事業所
グループホームきれいな
〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL.059-388-1508 FAX.059-388-1508
- 指定共同生活援助事業所
グループホームきれいな 空羅多ガーデン (5か所) (5か所)
〒513-0207 鈴鹿市稲生埴原2丁目1番5号
TEL.059-388-1882 FAX.059-388-1882
- 指定共同生活援助事業所
グループホームきれいな 亀山 第1栗の木ヴィレッジ
(第1) 〒519-0166 亀山市布気町1446-2
TEL.0595-96-8182 FAX.0595-96-8182
- 指定共同生活援助事業所
グループホームきれいな 亀山 第2栗の木ヴィレッジ
(第2) 〒519-0166 亀山市布気町1446
TEL.0595-96-8183 FAX.0595-96-8183
- 指定共同生活援助事業所
グループホームきれいな 御糸の杜 (みいとのもり)
〒515-0354 多気郡明和町行部131
TEL.0596-55-6800 FAX.0596-55-6800
- 指定共同生活援助事業所
グループホームきれいな みや川
519-0504 伊勢市小俣町宮前31-2
TEL.0596-20-8530 FAX.0596-20-8531
- 指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所・指定就労定着支援事業所
きれいなサポートステーション
〒510-0253 鈴鹿市寺家町1416-1
TEL.059-388-0864 FAX.059-367-7911
- 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業所
きれいなライフステーション
〒510-0253 鈴鹿市寺家町1416-1
TEL.059-340-7997 FAX.059-367-7050
- 指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
宮の里ミタスメモリアルホーム
〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL.0596-58-5030 FAX.0596-58-5033
e-mail miyanosato@kirei.or.jp
- 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業
宮の里ライフステーション
〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL.0596-58-8588 FAX.0596-58-5033
- 指定生活介護事業所・指定短期入所
二見生活介護支援センター 潮音 (しおね)
〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
TEL.0596-72-8822 FAX.0596-72-8823
- 指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所
指定就労定着支援事業所・指定生活介護支援事業所
南勢就労支援センター
〒519-0427 度会郡玉城町宮古守鉄砲塚728番地の18
TEL.0596-58-0101代 FAX.0596-58-6742
e-mail nansel@kirei.or.jp
- 指定就労継続支援事業所
お弁当屋 潮音 (しおね)
〒516-0609 伊勢市二見町茶屋310
(二見生活介護支援センター潮音内)
TEL.0596-72-8808 FAX.0596-72-8817
e-mail obentoya-shiome@kirei.or.jp
- 指定就労継続支援事業所
第2南勢就労支援センター
〒515-0347 多気郡明和町志貴里中1134-3
TEL.0596-55-6711代 FAX.0596-55-3535
e-mail nansel2@kirei.or.jp
- 指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 白子
〒510-0236 鈴鹿市中江島町14-12
TEL.059-380-1711 FAX.059-380-1712
- 指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 鈴鹿南
〒510-0253 鈴鹿市寺家町1247-1
TEL.059-380-1717 FAX.059-380-1720
- 指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 津
〒514-0014 津市港町18-12
TEL.059-213-1717 FAX.059-213-1771
- 指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 伊勢
〒516-0013 伊勢市鹿海町656-1
TEL.0596-26-3170 FAX.0596-26-3025

社会的事業所
まかせ太君 (鈴鹿)
 〒513-0836 鈴鹿市国府町字高畦3917-272
 TEL.059-370-8118 FAX.059-370-8119

社会的事業所
まかせ太君 (伊勢)
 〒519-0504 伊勢市小俣町宮前741
 TEL.0596-63-5450 FAX.0596-63-5451